

マルヤガーデンズ × かごしま女性政策研究会

You're  
not  
alone

みんな「しあわせ」になるために生まれてくる!



【生理の貧困 project】

生理のことで、ひとりで悩む若い女性たちに心を寄せて  
マルヤガーデンズ 3F・5F に「チア・トイレ」を開設します。



マルヤガーデンズは、かごしま女性政策研究会と協働し、2021 鹿児島県男女共同参画週間(7/25～7/31)にあわせて自主企画『生理の貧困 project 「チア・トイレ」』を開設いたします。

「チア・トイレ」は、若い女性たちを応援する場所。マルヤガーデンズの「チア・トイレ」が、生理に関する現状と課題を共有し、職場や地域などさまざまな場所のジェンダー平等を考え、より良い暮らしを創るための糸口になる機会をつくれたらと思っています。

■ 開設期間

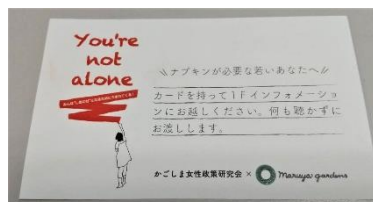
7月26日(月)～7月31日(土)

■ 開設場所

マルヤガーデンズ 3F・5F 女性用トイレ内

※トイレ内に設置されているカードを、1F インフォメーションへお持ちください。  
何も聴かずにナプキンをお渡します。

※設置カード



◇女性のための相談窓口や鹿児島県発行の男女共同参画関連パンフレット等を一緒に配布し、教育機関が休みで孤独になりがちな夏休み期間中の若い女性へ、一人で悩まずに相談できる場所があることを知ってもらうきっかけとします。



※「生理の貧困」の背景

新型コロナウイルス感染症パンデミックの長期化に伴い、日本においてもコロナの影響による失業や、収入の減少などの経済的な困窮で生理用品の購入が難しくなっている女性たちの「生理の貧困」が話題にのぼるようになってきました。

「生理の貧困」に関する県内のデータはまだありません。しかし、鹿児島に暮らす女性の約6割が非正規雇用で働いていることを考えると、鹿児島でも多くの女性や少女たちがこの問題に直面していることが想像できます。

経済的側面がクローズアップされることが多い「生理の貧困」ですが、人前で話題にすることがタブー視されがちなこと、世代による性に関する認識のギャップ等によって、女性たちがより良く生きることにも困難を抱える要因にもなっています。

【取材について】

- 「チア・トイレ」内部の取材をご希望の場合は、9時～10時(※マルヤガーデンズ開店前)の間とさせていただきます。予めご了承くださいませ。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社丸屋本社 マルヤガーデンズ事業部 営業推進部/ 松見 tel : 099-813-8108 fax:099-813-8088